

# 会 議 録

## 1 会議名

第1回上越市 ICT による情報化推進基本方針に係る有識者会議

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 上越市の課題意識とこれまでの検討経過（公開）
- (2) 国デジタル化の動き（公開）
- (3) 今後の会議の進め方等（公開）

## 3 開催日時

令和3年2月18日（木）午後1時から午後3時

## 4 開催場所

上越市役所木田第1庁舎4階 401会議室

※ウェブ会議にて実施

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：大森康正、川崎浩司、齋藤俊幸、丸田健一、宮下壽幸
- ・事務局：八木総務管理部長、金子課長、水澤副課長、清水係長、三輪主任

## 8 発言の内容（要旨）

### (1) 開会

事 務 局

- ・ただ今から上越市 ICT による情報化推進基本方針に係る有識者会議を開催する。まずは有識者会議について説明させていただく。
- ・資料に沿って説明
- ・本日5名の委員全員の出席があったことを報告する。

### (2) 委嘱状交付

事 務 局

- ・本日の流れについてはウェブ会議となったことから変更し、委嘱状の交付は割愛する。委嘱状については郵送等により送付する。

(3) 部長あいさつ

八 木 部 長

- ・挨拶

(4) 委員自己紹介

- ・委員名簿に沿って自己紹介
- ・事務局職員について紹介

(5) 委員長の選出

事 務 局

- ・委員長の選出を行う。上越市 ICT による情報化推進基本方針に係る有識者会議設置要綱第 5 条 2 項の規定により委員の互選によると定められている。意見を求める。

丸 田 委 員

- ・事務局で腹案あればお願いしたい。

事 務 局

- ・事務局腹案というお声をいただいた。事務局としては大森委員を推薦したいがどうか。

(異議なし)

委員長：大森康正

大森委員長

- ・挨拶

(6) 議事 ※委員長が議長を務める。

大森委員長

- ・議題(1)「上越市の課題意識とこれまでの検討経過」と(2)「国デジタル化の動き」について、事務局から説明を求める。

事 務 局

- ・資料に沿って説明

大森委員長

- ・意見交換について進める。ここまでの説明について質疑を求める。

川 崎 委 員

- ・国の地域情報化アドバイザーから国の状況等を伺いながら方向性付けし、その方向性の中で議論していく会議と理解した。国の検討状況など有意義な情報が伺える機会と思うので、可能ならアドバイザーもこの検討の場に参加できないか。

## 事務局

- ・国の地域情報化アドバイザーという制度を利用して助言を受けている。そのスキームでは会議体への参加ができないため、参加は難しいと考える。しかしながら、有意義な情報については都度情報提供させていただくことでそれに代えさせてほしい。

## 齋藤委員

- ・メインは市の中の課題であると理解した。市の課題に加え、地域の取組に広げたいと説明があった。会議体の回数が多くないため前倒しで色々な情報を共有したいと考える。実務・地域視点について、現時点での考えなどあれば聞かせてほしい。

## 事務局

- ・オープンデータについて、行政内部では色々な情報に触れている。自治体が持っている情報について、民間企業、一般個人の皆様に対してどんな情報が役に立つか、掴みかかっている。今後の議論対象としていきたい。
- ・業務システムについて、国の要請である標準化・共通化に対する方針の中で、考えに誤りがないかをお尋ねすることを考えている。
- ・職員研修について、今後デジタル化を進める中で職員の育成が必要と考えている。これまではセキュリティを主としていた。新しい ICT を利活用するにあたり、どういった研修が必要かについてご助言いただきたいと考えている。一例としては以上。

## 丸田委員

- ・RPA について、OCR を活用するという項目がある。また重点取組の中にマイナンバーカードの普及がある。申込がハンコなので OCR の活用が必要となってしまう。ハンコではなくマイナンバーカードを利用しデータで認証することで RPA の活用が広がると考える。この点についてどういった考えか。

## 事務局

- ・データを電子で受け取れば OCR は不要な道具。オンライン申請の促進やマイナンバーカードの普及の具合等を見ながら、電子データで受ける取組が必要になることが予想される。OCR も業務のデジタル化への過渡期に実用的と考えている。今のところ電子と紙の両にらみで取組を進める必要があると認識している。いずれは電子で行いたいという思いはある。

## 川崎委員

- ・国の方針にあるマイナンバーカードを用いたオンライン手続きについて、マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになることもあり、来年度中には普

及率が半数に達することが見込まれている自治体もあるようだ。令和 4 年度にスマートフォンの中にマイナンバーカードの電子認証機能が入ってくる。これらを受け、行政手続のオンライン化が普及すると考えている。電子で入力したあとにどうバックヤードにつなげていくかがポイントになってくる。ここで RPA が活躍するため、計画の中では大きいウェイトを占めると感じている。

#### 宮 下 委 員

- ・くびきの地理空間情報センターでは県内 2 団体と県の防災局と災害の協定を結んでおり、災害時の電子地図の作成のサポート、平時には研修や防災訓練等の連携をしている。自治体では災害時に利用可能なデータについて把握できていないことがある。自治体だけではオープンデータの管理、利用は難しいと考えている。それを中間的に扱う団体を経由して県と連携できる仕組みを進めていたが、進んでいない状態。今回の情報化の基本方針の中で県との連携を絡めてほしい。
- ・有識者会議の役割として、実務・地域の視点からみた上越市特有のものとしたいとあるが、現状としては遅れていると実感している。例えば豪雪時に要援護世帯等に IoT、AI を活用し安心してもらえる仕組みづくりなど、この会議の中でこういった具体的なところまで話ができればよいと考えている。

#### 事 務 局

- ・今般の大雪災害における要援護世帯の対応についてお話ししていただいた。災害救助法が 1 月 10 日に適用され、屋根雪下ろし、排雪について民生委員を通じて対象の皆様にお知らせするにあたり、郵便も停止している状況だった。市の職員がお知らせを届けるなどアナログな方法しかとれなかった。また、生活道路まで除排雪がすぐには行き届かなかった。
- ・例として市民の皆様が除排雪の状況が確認できるような仕組みなどができればと考えている。また、JCV の情報カメラの視聴が多かったと聞いている。
- ・この会議、方針によって地域住民の皆様が利益享受でき、生活がこう変わると実感できるようなご提案、ご知見いただきたい。国等から示されるものに対しての選別などについてもご助言いただきたい。

#### 川 崎 委 員

- ・日本郵便に MyPost（マイポスト）というデジタル郵便がある。止めてはいけない情報を電子でやることは良い事例と考える。日本郵便と前島密と関連させ良いテーマとなるのでは。

## 事務局

- ・情報周知の方法に関することとして情報提供いただいた。情報周知の方法について課題意識を持っている。災害に限らず、例えば子育て世帯が欲しい情報とその世帯だけに周知できる仕組みなど実現できるとよりレベルの高いものとなると考えている。こういった情報周知の方法についても会の中でご意見いただきたい。

## 大森委員長

- ・上越市ならではのところが有識者会議で膨らませていく必要があると考えている。上越市の中のサービスを DX で推進していく話と地域全体として底上げしていく話がある。市単独で全部を実施するのは難しいと考えている。
- ・期待としてオープンデータを含め、自治体はいろいろなデータを持っている。それを上手く匿名化し、民間の企業や団体が活用することで、民間ベースの新たなサービスが出来上がっていく仕組みができるとよいと考えている。

## 齋藤委員

- ・民間事業者は事業目的に沿ってサービス提供を検討している。いろんな情報がフリーにアクセスできるようになれば更に我々のアイデアを活かすことができ、利用者である市民の方々にとってより良いものとなると考えている。
- ・前提として、世の中を次のステージに引き上げる積極的な意味合いを持つ面と現状の課題についてどう整理するかという二面がある。これらを混同しないよう整理してほしい。これまでの内容から今回は課題を整理し、上越市らしい新たな形に脱皮するようなかたちと理解した。

## 大森委員長

- ・有益な視点。私もこういう視点を持ちながら進めたい考え。

## 事務局

- ・素案作成で議論になっている点。DX に現状を破壊するような抜本的な改善をする意味が含まれている。国では、まずは現状の改善をと考えているという認識の中で ICT の利活用をどのレベルで考えればよいかについて迷いがある。齋藤委員から示されたとおり二面的である。まず現状の課題をボトムアップして変えていかなければいけない。それをぐるぐると繰り返し変えていくことで、いずれ上越市という組織の姿そのものが変わる、脱皮する時が訪れると考えている。方針の中でどこまで落とし込めるか迷いがあるが、次回以降に素案を示して議論いただきたいと考えている。是非二面性についてもこの会で意見交換をお願いしたい。

大森委員長

- ・次回以降についても議論を深め良い方向へもっていききたい。今回で上越市の考えと各委員の考え方をある程度お互いに理解できた認識。これをベースに次回以降は具体的な議論を進める。回数は多くないが集中的に進めたい。

大森委員長

- ・議題(3)今後の進め方等について、事務局から事務局案の説明を求める。

事務局

- ・資料に沿って説明

大森委員長

- ・今の案に意見等を求める。

大森委員長

- ・各委員のつながりの中でご存知のことを是非この会議で紹介いただきたいがよいか。

事務局

- ・皆様からの情報提供を是非お願いしたい。

大森委員長

(その他発言なし)

- ・日程含め、事務局案に沿って進めることとする。
- ・前の議題含め、全体を通じて意見等を求める。

宮下委員

- ・GISを使う立場から、確認をしたい。地理空間情報活用推進基本計画というものが平成24年に閣議決定されている。それに伴って国ではG空間情報センターという全国の土地利用情報などの地理空間情報を一元化しようというセンターがある。上越市の登録状況は何かあるか。

事務局

- ・当市においては、登録はない。

宮下委員

- ・登録の際に難しさがああり、大都市以外はあまり登録がない状況のようだ。民間では無償と有償のものがあると記憶している。DXの中ではこれを利用しないとオープンデータの有効利用ができないと考えているため、検討の対象としてほしい。

大森委員長

- ・事務局含め、その他意見等を求める。

(発言なし)

大森委員長

- ・その他意見がないことから以上をもって本日の会議を閉会する。

(7) 閉会

9 問合せ先

総務管理部総務管理課情報管理係

TEL : 025-526-5111 (内線 1611)

E-mail : joho@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。